

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		・規定の水準はクリアしていますが、利用人数によっては狭く感じる時があります。室内や園庭はこれ以上広く取れないので、土曜日や長期休暇中など、お出掛けの時間が取れる際は広い公園に行くなど、努めていきます。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		・職員配置数は基準を満たしていますが、子ども達を安全にお預かりし、より良い支援が出来る様、職員を充実させていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・施設内において、バリアフリーになっている身障者トイレがありますが、現在手すりを取り付ける方向で話しを進めています。また、廊下の水道の手すりも取り付けを検討中です。身障者の駐車スペースのご要望を頂いており、これから検討していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		・PDCAサイクルの意味を職員が理解し、それによる業務改善できるよう、現状の把握と職員間の意思疎通や情報共有が出来るよう、常に見直しと改善をしていきます。また、各職員の事業改善意識を高めていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			○	・業務改善に努めていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	・お便りやHP、事業所内掲示にて公表していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			・法人内での相互監査を行い業務改善に努めています。外部の第三者による評価を検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・施設外で行われている研修に参加している他、施設内においても計画的に研修会・勉強会を行っています。また、自己研鑽の為に自己評価・他者評価を行っています。
適切な 支援の 場	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・子どもの特性や現状を把握し、保護者の意向やご本人の主訴を踏まえながら、課題を設定しています。支援方法を具体的に挙げ、計画書の内容についてご理解頂けるよう、今後もより一層努力していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		・個人で受けているリハビリの中での検査結果について保護者から情報を得ていますが、今後は標準化されたアセスメントツールを使用して発育状況や適応行動が図れるよう、まずは研修に参加し学んでいきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・職員間で話し合いを持って活動プログラムを決めています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・個々の課題の達成を目指し、楽しみながらそれぞれが持っている力を引き出せるように、プログラムしていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・平日と休日・長期休暇と、それぞれ出来る課題を設定し、今後も取り組んでいきます。

提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		・全体活動や個別活動など、子どもの特性を踏まえながら、個別支援計画に組み込んでいきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・毎日のミーティングでその日の確認を行ったり、情報共有を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	・振り返らなければならない事など必ず話し合いを持っていきます。就業時間などでその他共有事項については、ミーティングや連絡ノートに記入するようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・利用があった日は必ず記録し、月ごとに健康面や生活面のまとめを行い、子どもの変化や支援に対する振り返りを行っています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・最低6か月に一度はモニタリングを行っています。クラス関係なく、放課後等デイの職員全員で話し合い、支援方法などの見直しを判断しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		・個別支援計画書に沿って基本的な日常生活の自立を目指しながら、室内や戸外での活動・交流・経験を積む機会を多く持てる様、努めていきます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・児の担当になっている職員が会議に参加し、その子を取り巻く関係機関との情報共有に努めています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		・年間行事や各月の下校予定表は、学校や保護者より情報を頂いて把握できるようにしています。送迎時間に遅れが出てしまう際は学校に連絡を入れるようにしており、施設内の他、全ての車に各学校の連絡先一覧を用意しています。学校での様子などを送迎時に申し送り情報共有をしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	・個人情報の関係で、直接主治医等と連絡は取れていませんが、今後も保護者を仲介に連絡を密にしています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		・児童発達支援事業所の他、通っていた保育所や幼稚園等に、必要に応じて保護者の同意を得た上で情報の提供を相互に行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		・相談支援専門員が、その子を取り巻く関係機関に呼び掛け、担当者会議を行い情報の提供や共有を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・県北通園施設が集まったの研修会に参加したり、リハビリの専門機関と連携させて頂いています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		・年間を通して数回、学童や小規模保育・児童発達支援を利用している子ども達皆が集まって行事を行っています。今後も、他事業が1施設に集まっているこども館くれよんの良さを活かせる様、共同でレクレーションを行う機会を作る等、交流する場を設けていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		・今後も出来る限り参加していきます。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・気になった事やその日の出来事は、連絡帳だけでなくお迎えに来た際にお話させて頂き、情報を共有させて頂いています。	

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		・保護者様とのコミュニケーションを大切にしながら、子どもの育ちを支える力をつけていくお手伝いができるよう、職員自身の技量向上に励んでいきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・今後も、ご理解頂けるよう引き続き努力していきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・面談という形だけでなくお迎えの時などの会話の中など、保護者様から困り事等をお聞きした際は、お気持ちに寄り添いながら、助言と一緒に考えて行く事を今後も心掛けていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・年に1度は保護者会を行い、保護者同士が話す時間を設けています。今後はその他に、アロマ体験などのイベントを加えた「お茶会」を開き、保護者や地域の方が気軽に集い交流し、繋がりが持てるよう企画中です。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・そのような場合には、お子様や保護者様に対しご説明と謝罪をさせて頂き、改善策や対応・ご報告を早急に行ってまいります。皆様からの信頼を損なわないよう、日々精進して参ります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・クラスのおたよりやフェイスブック等で、定期的にお知らせしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		・今後も、十分留意していきます。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・子どもとのコミュニケーションについては、文字盤や絵カード・マカトン等、その子にあったツールを使用しながら意思の疎通や伝達を図っています。保護者とは、毎日の連絡帳や直接会話をさせて頂いたり、緊急性のある事柄においては、連絡先に電話をさせて頂いています。事業所の電話が繋がりにくいというご意見に対し、最近、携帯電話を導入致しました。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・くれよんまつりのチラシを配布・掲示して頂き、地域の方との関わりを図っています。今後は地域の方にも気軽に参加して頂けるような機会を作り、呼びかけて行く予定です。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		・見直しを行いながら改善しつつ、保護者にも周知していけるようにします。
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・年に最低2回は避難訓練を行っています。火災・水害・地震を想定して、避難・通報の訓練を行ってきました。不審者についても今後行う予定です。今後も、年間計画を作り、定期的に訓練に取り組みます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・虐待防止研修に積極的に参加しており、参加職員からの報告で職員間でも共通認識できるようにしています。また、施設内研修においても虐待防止について話し合いを持ち、常に意識出来るようにしています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		・現在対象者はいませんが、危険を伴うなど必要な場合については、個別支援計画書に記載し、保護者の了解を得たうえで行うようにしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・アレルギー除去が必要な児については、検査結果や医師の生活管理指導表をもらい、対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・全体会議内での報告や危機管理に関する報告書のファイルを作成し、職員全員が共有できるように改善しています。